

# 男女共同参画に関する区（自治会）の意識調査 結果報告書

令和7年12月3日  
中野市人権・男女共同参画課

## 1 調査の目的

区（自治会）における男女共同参画に関する意識や現状を把握し、「第5次中野市男女共同参画計画（令和9年度～13年度）」策定に当たっての基礎資料とするとともに、今後の地域活動における男女共同参画の推進に資することを目的とします。

## 2 調査方法

- (1) 調査対象 市内76区
- (2) 調査方法 郵送による配布、郵送、FAX又はインターネット回答
- (3) 調査期間 令和7年8月22日（金）～9月22日（月）

## 3 調査項目

- (1) 区（自治会）について ..... 問1
- (2) 役員の数等について ..... 問2
- (3) 女性役員の登用について ..... 問3～問7
- (4) 自主防災組織について ..... 問8
- (5) 女性役員を増やす取組について ..... 問9
- (6) その他意見・要望について ..... 問10

## 4 回収結果

- (1) 配布数 76区
- (2) 回収数 64区（うちインターネット16区、FAX2区）
- (3) 回収率 84.2%（うちインターネット21.1%、FAX2.6%）

## 5 集計上の留意点

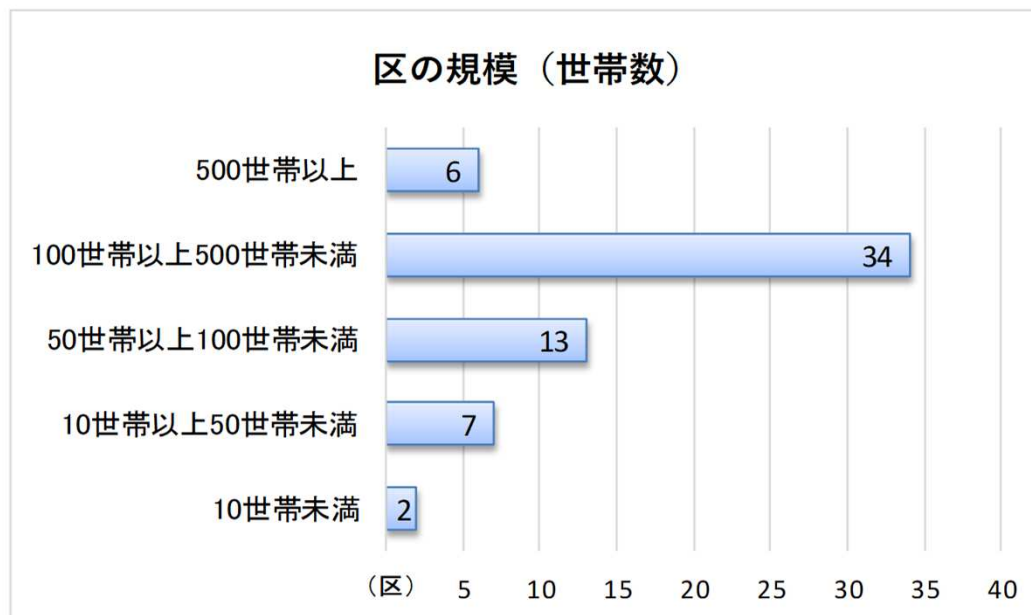
- (1) 回答率（パーセント数字）は、小数点第二位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。
- (2) 複数回答の設問では、回答率の合計は100を超え、回答数の合計は回答者総数と一致しません。
- (3) 図表では、「無回答」を省略しています。自由記述の設問では、「特にありません」等の回答を省略しています。

## 男女共同参画に関する区（自治会）の意識調査結果

問1 最初に、貴区（自治会）についてお答えください。

回答数62区

「100世帯以上500世帯未満」が34区で最も多くなっています。



問2 役員の数等についてお答えください。

回答数63区

女性役員の数（割合）は、区長が2人（3.2%）、副区長が3人（3.1%）、会計が0人（0.0%）となっています。

その他の役員では、組長、協議員、民生児童委員、日赤奉仕団員、財産区管理員に女性が役員をしている区がありました。

役職名	全体の人数	うち女性の人数	選出方法			
			選挙	互選	推薦	その他
区長	63人	2人	27区	10区	15区	10区
副区長	97人	3人	23区	12区	19区	7区
会計	33人	0人	10区	9区	9区	5区

※副区長は、会計兼務を含みます。

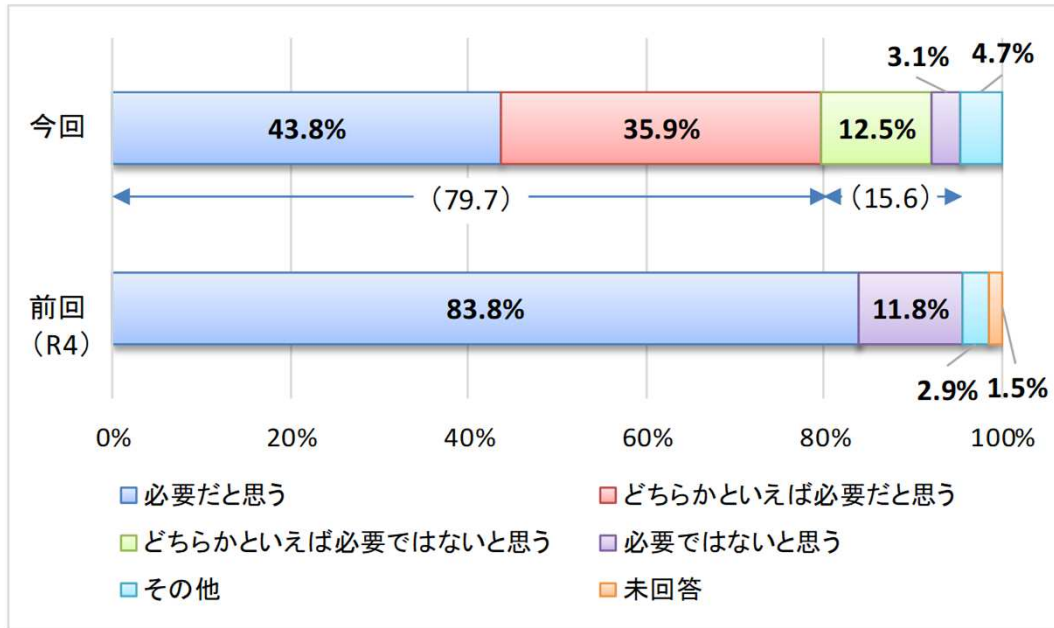
問3 区の役員に女性は必要だと思いますか。（○は1つ）

回答数64区

「必要だと思う」「どちらかといえば必要だと思う」を合わせた回答は79.7%となり、前回より4.1ポイント減少しています。

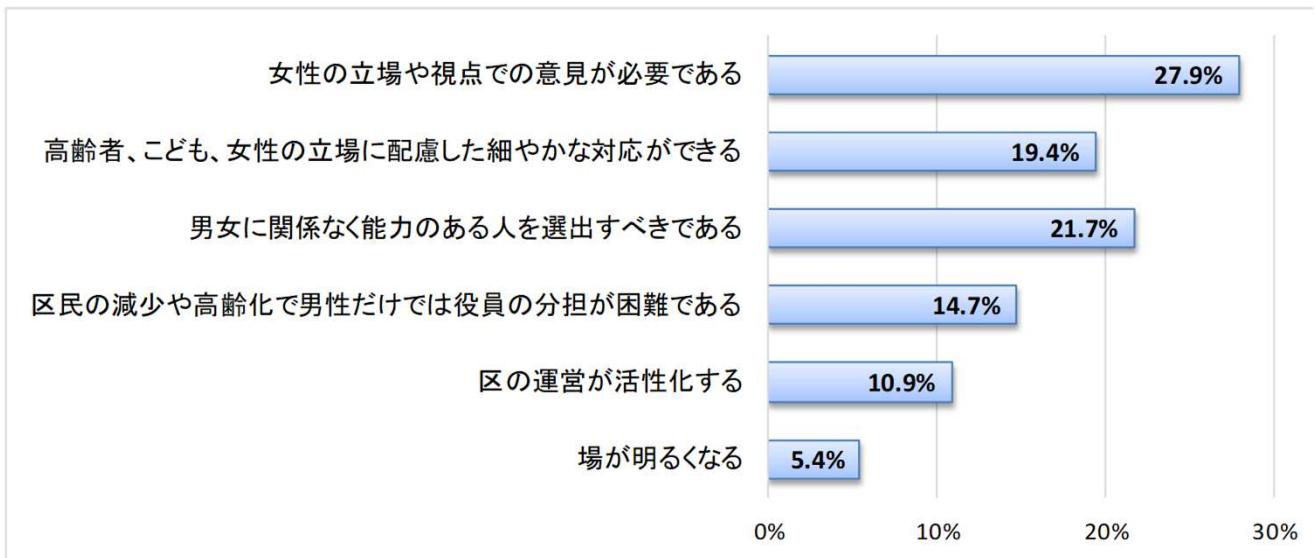
※前回調査は、「必要」「必要ない」の2択のみ

区の役員に女性は必要だと思いますか。（回答数64区）



**問4 必要だと思うのはどのような理由ですか。（複数回答可）** **回答数51区**

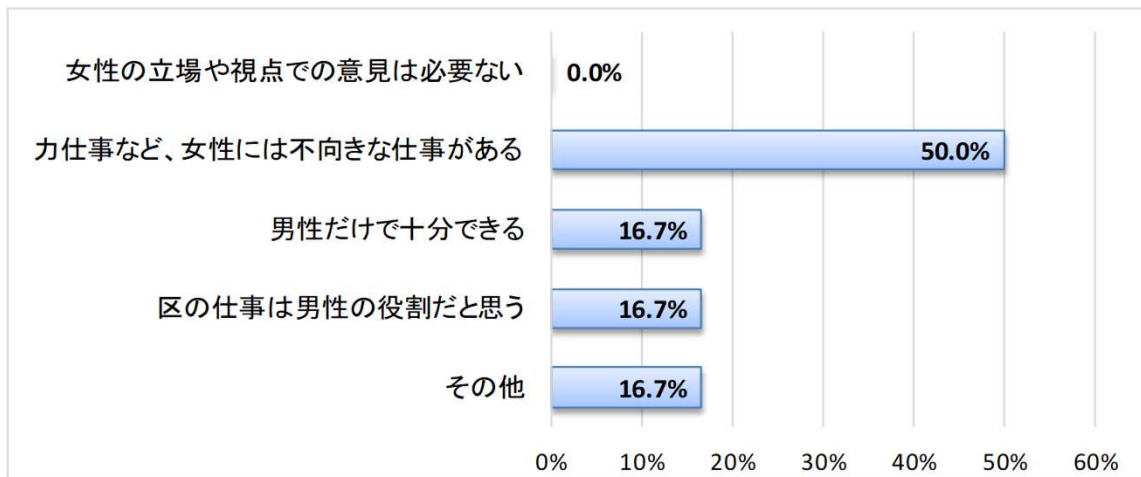
「女性の立場や視点での意見が必要である」が27.9%で最も多く、「男女に関係なく能力のある人を選出すべきである」が21.7%、「高齢者、子ども、女性の立場に配慮した細やかな対応ができる」が19.4%と続きます。



**問5 必要だと思わないのはどのような理由ですか。（複数回答可）** **回答数10区**

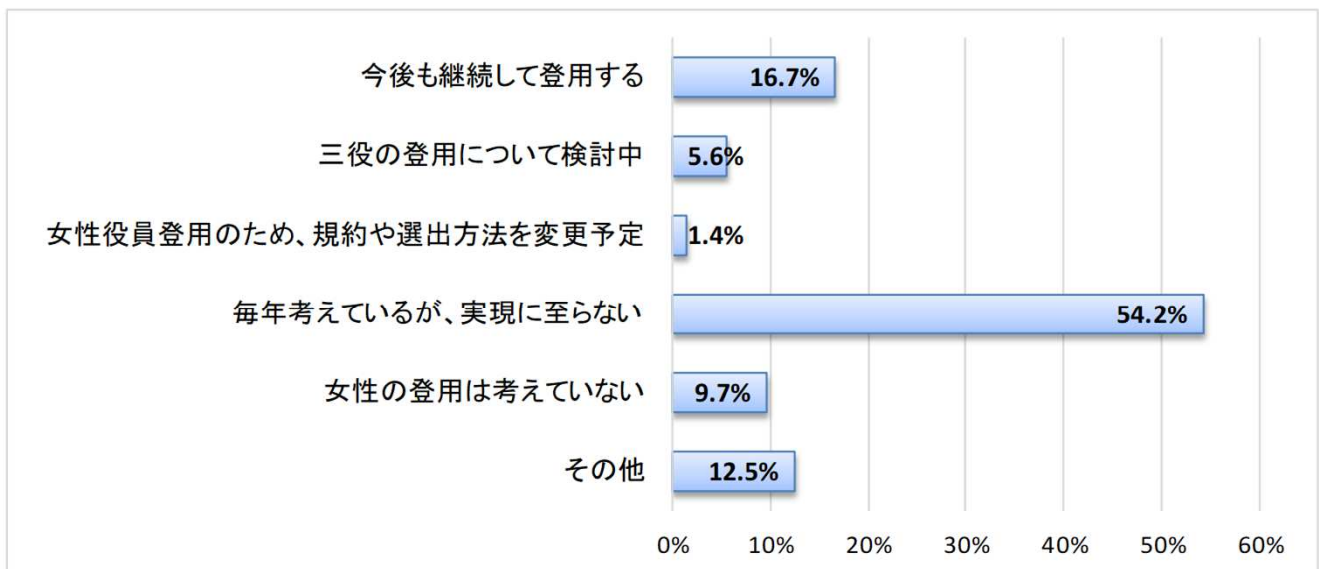
「力仕事など、女性には不向きな仕事がある」が50.0%で最も多く、「男性だけで十分できる」「区の仕事は男性の役割だと思う」がそれぞれ16.7%と続きます。

必要だと思わないのはどのような理由ですか。（回答数10区）



問6 今後の女性役員登用についてどのようにお考えですか。（複数回答可） 回答数45区

「毎年考えているが、実現に至らない」が54.2%で最も多く、「今後も継続して登用する」が16.7%と続きます。

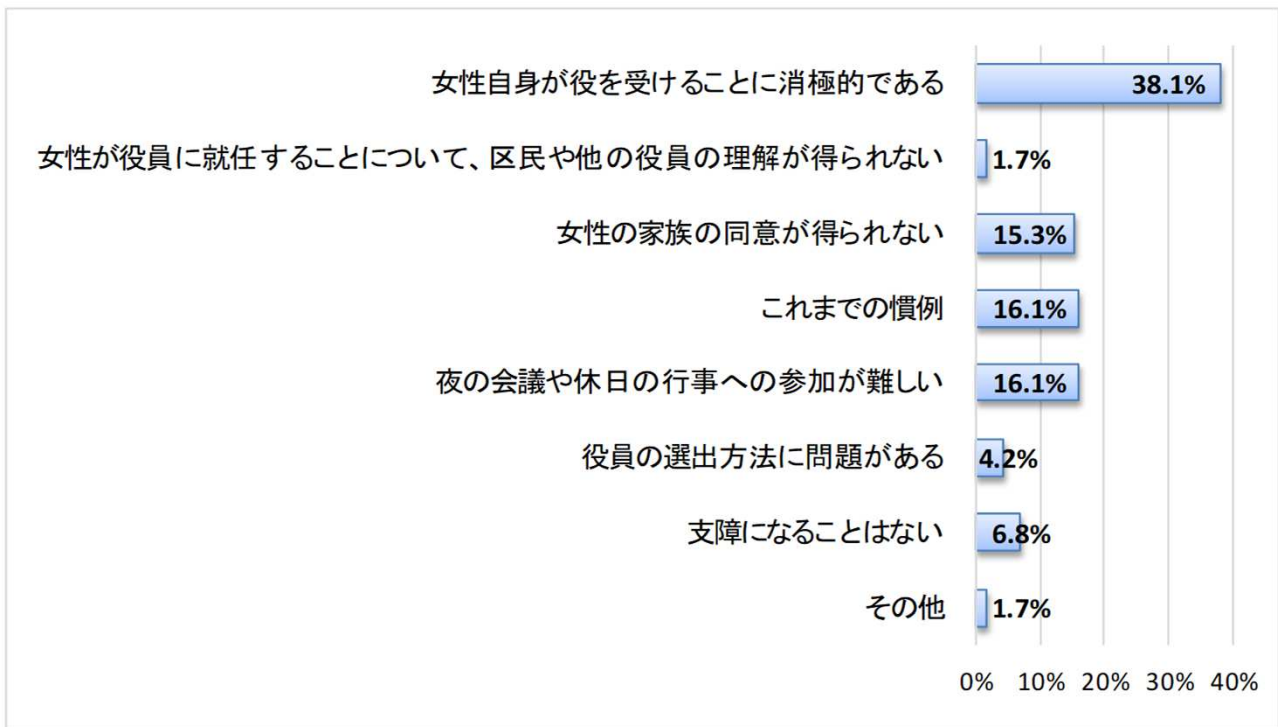


<その他>

- ・ 男女に関係なく能力のある方。
- ・ 本人の意志があれば女性でも良いと思う。
- ・ 過去に2回、登用があった。
- ・ 当区では、数年来民生児童委員さんは女性にお願いしている。
- ・ やりたいと申し出があれば検討する。
- ・ 村の風潮が根底にあるためかのように思う。
- ・ 男女問わず成り手がいない。
- ・ 女性は連れがいないと尻込みしてしまう。
- ・ 区内で女性登用の気運が高まれば検討する。

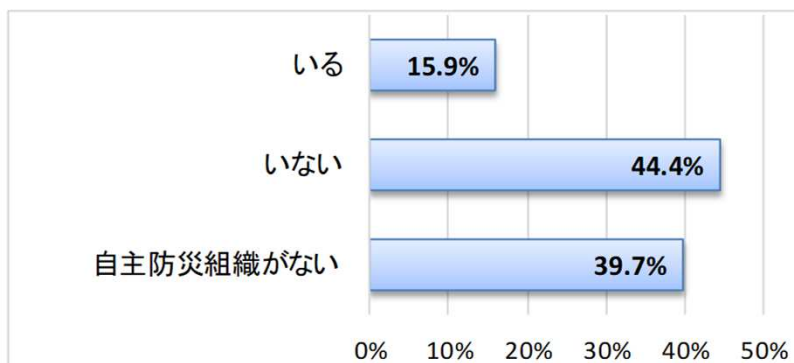
**問7 女性役員登用について支障になっていることは何ですか。(複数回答可) 回答数63区**

「女性自身が役を受けることに消極的である」が38.1%で最も多く、「これまでの慣例」「夜の会議や休日の行事への参加が難しい」がそれぞれ16.1%と続きます。



**問8 自主防災組織に女性役員はいますか。(〇は1つ) 回答数63区**

「いない」が44.4%、「自主防災組織がない」が39.7%で、84.1%が区の防災組織に女性役員がいないと回答しています。



**問9 女性委員を増やすために、現在取り組んでいることはありますか。 回答数10区**

**<自由記述>**

- ・ 女性役員を否定するつもりはないが、いざとなるとなかなか候補があがらない。今後はなにか手立てをしなければと思うのですがどうすればいいかわからず何もしていないのが現状です。

- ・ 女性を無理に登用する風土がない。男性を選ぶにも四苦八苦。やり手がない。
- ・ 女性が適任と思われる役職については積極的に登用するようにしている。  
(民生委員など)
- ・ ○○区では、評議員会に各組の保健補導員さん(6名)に評議員として就任してもらっています。全員女性です。しかしながら、市の保健補導員会が来年度解散の見込みだということで来年度以降は未定です。
- ・ 女性の協議員を設けている。
- ・ 役員の条件として、性別は指定していない。
- ・ 役員への意向確認。
- ・ 女性だけでなく男性も成り手がない。
- ・ 具体的な取組は今のところしていない。色々な機会意識調査をしている段階。役員登用の仕組みを変えないといけないと感じている。
- ・ 住みやすい地域としていき、活動できる女性を応援できる環境を整えていきたい。

**問10 地域活動における男女共同参画について日ごろ感じていることや、市の男女共同参画事業についてご意見・ご要望がありましたら、**  
ご記入ください。

**回答数15区**

**<自由記述>**

- ・ 周囲には、自ら積極的に参画しようとする女性が殆ど存在しない。市の姿勢も、本気で変革しようとしている様には見受けられない。
- ・ 市の男女共同参画事業について何をしているのか知らないの何とも言えません。でも女性もいろいろな役に就いて活躍してくれるのはいいことだと思います。
- ・ 女性の方が適任だと思える業務に参画していけるハート(方法)があればいいと思う。(企画、事務等)
- ・ 男女共同参画の取り組みは○○区のような小さな区の場合は、慣例に倣った方法が当たり障りがないのでスムーズに進んでいく。このことを変えたいのであれば行政側からの積極的な発信が不可欠だと思います。
- ・ 過去に女性副区長も散発的に出ているが、女性同士の横の連絡がないため、単発で終了してしまう。これからは、女性を表に出していく集会、役当てが必須である。
- ・ 将来的に考えていかなければと思います。
- ・ あくまで個人的な意見ですが、男女問わず、その事業において率先して参加したいというものがどのくらいあるのでしょうか。例えば昇進のように待遇が変わるといったメリットがあれば、性差を超えてみんなが率先するでしょう。ですがほぼボランティアで休日作業に費やされることもあるとすれば率先して参加したいと考える人は少ないと思います。ただ女性に下駄を履かす、余計な特典をつけるというのも長い目で見たらよろしくないように思います。性別を問わず、みんなが参加してよかったと思える事業や会議が増えれば、自然と男女参画は達成されると思います。
- ・ 各役員の2割程度の人数が参画できる環境を整備できるように努めます。

## <自由記述>

- ・ 男女共同参画の実現に向けて、今まで様々な試みがあったが、未だに色々な課題が社会の中に存在している。男女共同参画については、一人一人の意識改革が一番求められるのではないかと思う。
- ・ 女性の視点で区政に参画していただくことは重要だと考えています。今後の検討課題と致します。
- ・ 区の役員については女性の生活習慣、家事仕事、力仕事等現実的に我が区の役員に選出する事は難しい。本人が立候補すればもちろんお願いしたい。
- ・ 人権教育懇談会において男女共同参画について、市担当者からお話をお願いします。
- ・ 女性らしい視点といったものを期待するのは逆効果だと思う。
- ・ 区民の減少や高齢化により男女を問わず各事業の担い手、引受手がいなくなっているので、行政における各事業の区への人員割当てを減少させる方向で検討をお願いしたい。
- ・ 女性自身が消極的ですが、出来る事から進めています。

## まとめ（論点整理）

今回の意識調査の結果から、区（自治会）における女性役員の登用は、多くの区でその必要性を認めながらも、実現に至っていない状況が続いていることが明らかになりました。

以下、区における女性役員の登用の現状を考察し、それに基づく具体的な課題や取組の方向性を整理します。

### 1 現状と課題について

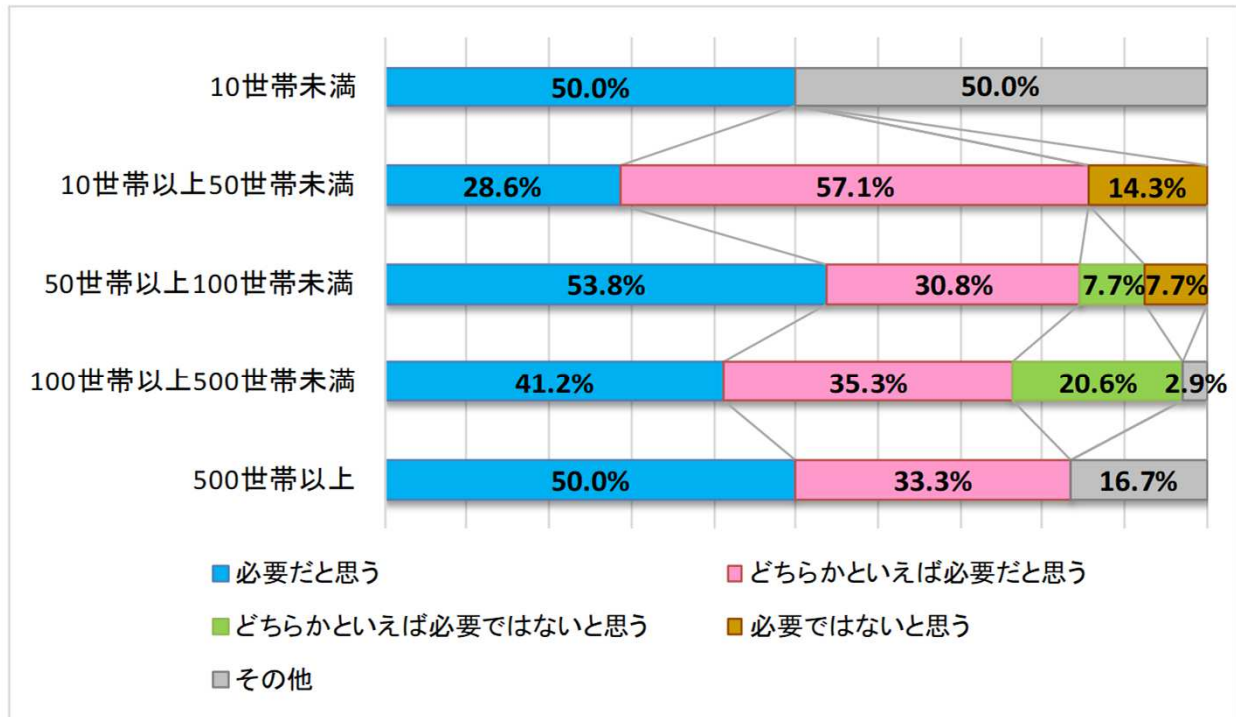
- ・ 回答のあった女性区長（2人）は、50世帯未満の比較的小規模の区であることから、人手不足、成り手不足により女性が選出されていると推察されます。
- ・ 前回調査（令和4年）から区長が1人の増、副区長が1人の増、会計が2人の減となっており、区運営の中心的な役割を担う役職に女性がほとんど増えていません。
- ・ 女性役員が増えない要因として、「女性が消極的であること」「力仕事など女性に不向きであること」を挙げている割合が高くなっています。
- ・ 「女性役員の登用を考えているが実現に至らない」と考えている区が多いことから、性別による役割分担意識が依然として残っていることが推察されます。

### 2 取組の方向性について

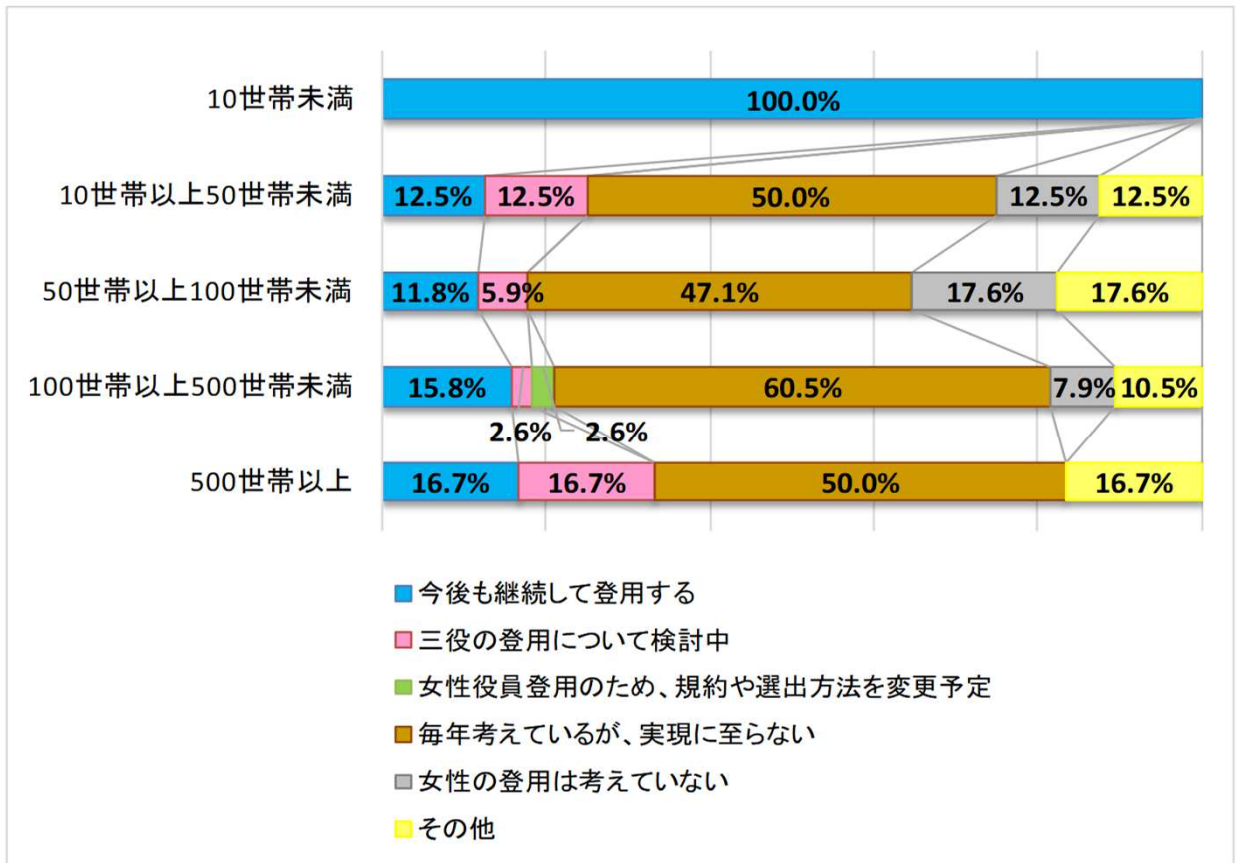
- ・ 持続可能な自治会運営には女性等の多様な担い手の参画が重要であるため、好事例を学ぶ先進地視察や他自治会との交流会を実施することが考えられます。
- ・ 市が行っている男女共同参画に関する出前講座を活用し、区の総会や役員会、人権教育懇談会等を開催する際に、ミニ講座を実施することが考えられます。
- ・ 女性枠を設けるなど役員選考方法の見直しや業務負担の軽減に取り組むことにより、女性が区の運営に参画しやすい環境づくりを進めることが考えられます。
- ・ 自主防災組織など区の防災活動において女性の参画を検討することが考えられます。

## 男女共同参画に関する区（自治会）の意識調査結果（クロス集計）

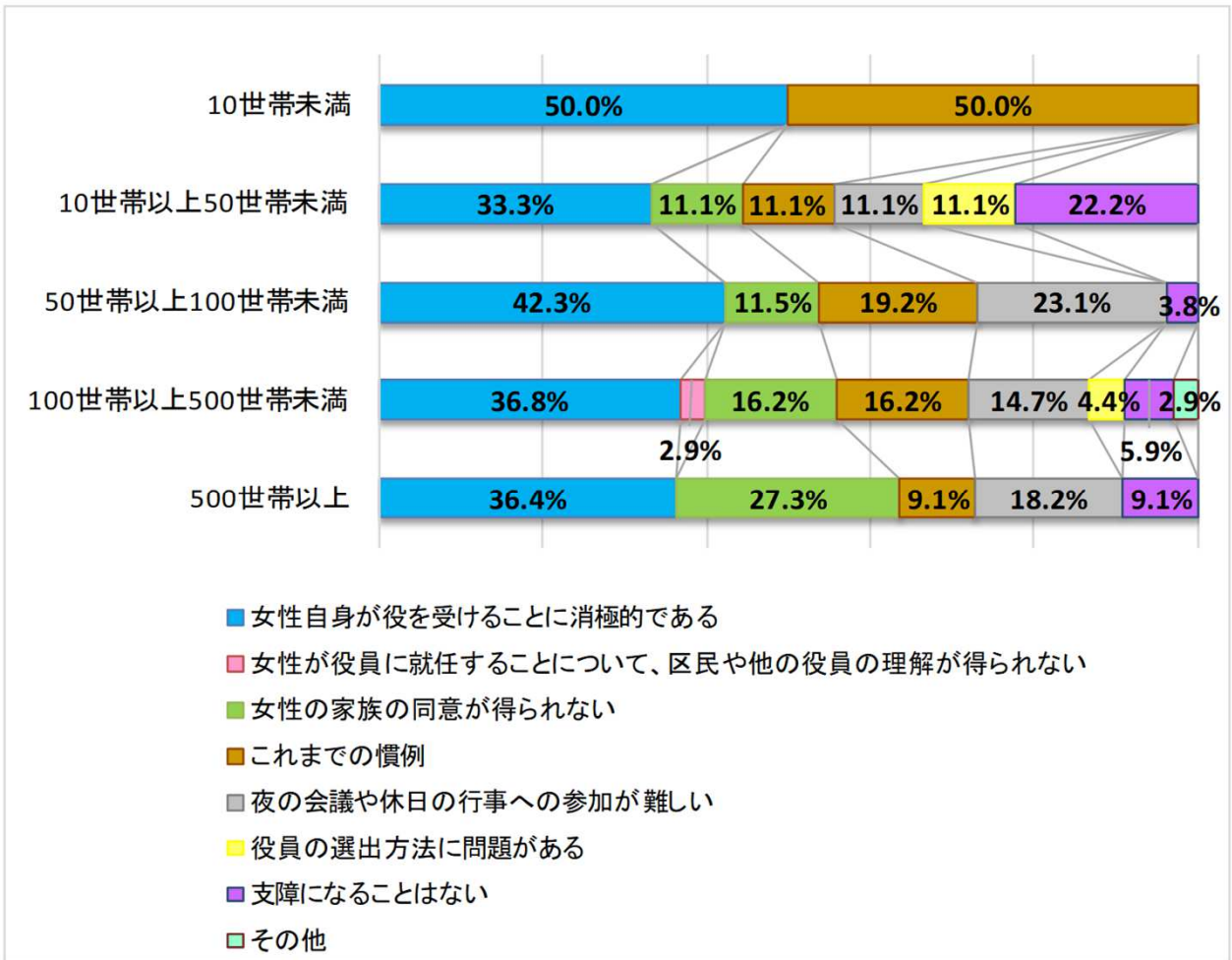
### 問3 区の役員に女性は必要だと思いますか。（規模別）



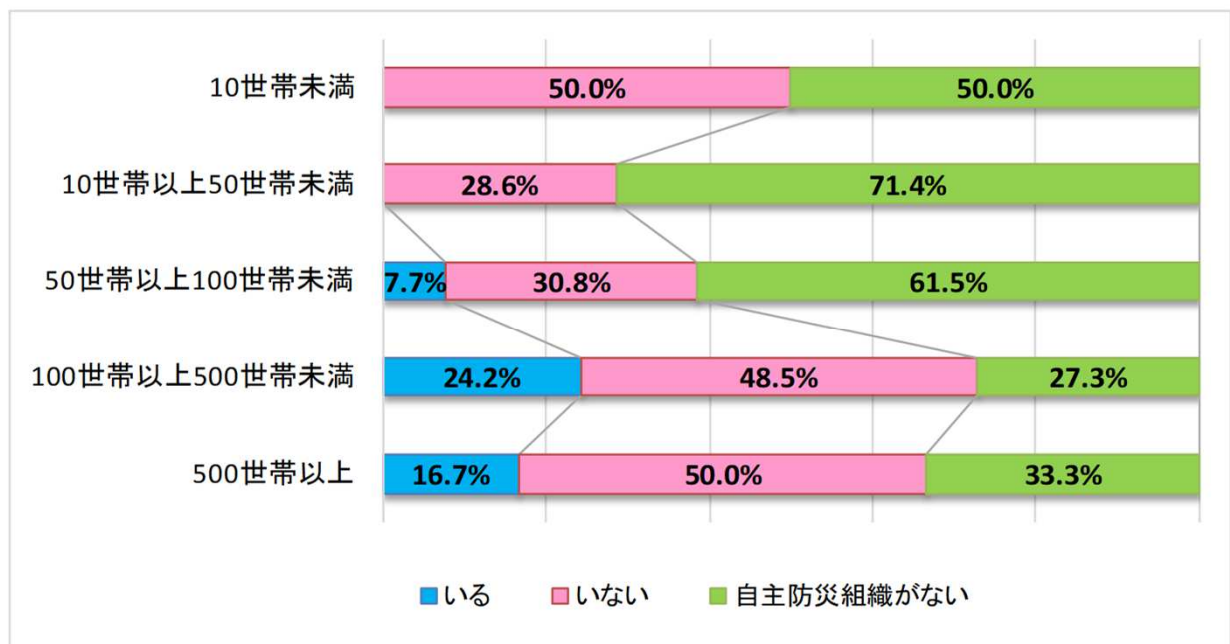
### 問6 今後の女性役員登用についてどのようにお考えですか。（規模別）



問7 女性役員登用について支障になっていることは何ですか。（規模別）



問8 自主防災組織に女性役員はいますか。（規模別）



ご協力いただきありがとうございました。